



さようなら 佐久山中学校

伝統は親園中学校と共に…

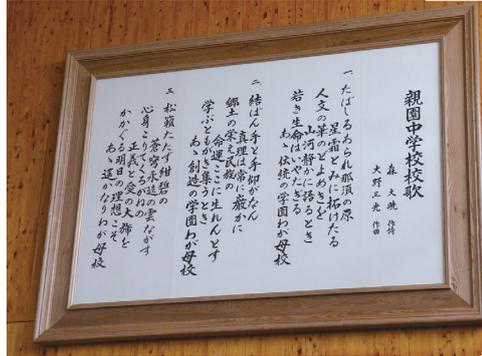
平成 30 年 3 月、佐久山中学校は 71 年という長い歴史に幕を下ろしました。たくさんの卒業生を輩出し、地域と共に歩んだ掛け替えのない歴史は、これからも後世に語り継がれていくことでしょう。

そして、親園中学校との統合…

新たな仲間たちとの交流が生まれ、両中学校で育まれた伝統、文化が融合し、充実した学校生活の中で、親園・佐久山両地区の子供たちが、いま躍動しています。



佐久山地区の生徒を迎えて平成 30 年度がスタートした親園中学校。統合に伴う生徒数の増加に対応するため、既存の校舎を改修し教室を増設しました。また、全教室へのエアコン設置工事も合わせて実施しております。そのほか、体育館脇の駐車場の舗装化や屋外トイレの設置工事などを行い、統合に合わせて教育環境が向上しました。



①2台のスクールバスを運行／②佐久山中学校から受け継いだ、豊道春海作の書／③新調された校旗／④親園中学校で歌い継がれる校歌(書・刈生田武氏)／⑤並べて掲示された旧校旗

佐久山中学校の体操着(右の生徒は親園中学校の体操着)

※基準日：平成30年4月12日

統合後の【親園中学校】

大田原市教育委員会では、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境作りを目指して、市内小中学校の再編整備を推進しています。生徒たちには、統合により学習活動や部活動などの教育活動の幅が広がることで、互いに切磋琢磨し、高め合いながら、これまで以上に「生きる力」を育んでいくことを期待しています。

生徒総数	173人	
校歌	「佐久山中学校」の校歌を親園中学校の校歌とします。 ※閉校となった佐久山中学校の校歌を、友好と親睦の想いを込めて歌い継ぎます。	
校章	<p>【新たな校章】</p>	<p>周囲の【花びら】は、桜をイメージしています。桜は春の訪れを感じさせ、鮮やかに咲き誇る姿から、新たな出発への期待や希望を感じさせてくれるとともに、温厚で優しさを備えた人間に成長してほしいという願いが込められています。また、四季折々の変化を楽しむことのできる豊かな自然や田園風景が広がる親園・佐久山両地区の恵まれた環境を緑色で表すことで、健康的で清々しく、大きな可能性を秘めた生徒たちの強い生命力を感じることができます。そして、「親中」の金文字と、中心の円を彩る銀色は、生徒、教職員、地域が一体となり、輝かしい未来に向けて飛躍・発展する親園中学校を表現しています。</p>
制服、体操着	制服(女子)は「親園中学校」のものを、体操着は「佐久山中学校」のものを使用します。通学カバンやシューズなどは、「親園中学校」のものを使用します。	
部活動	<p>(男子)</p> <p>野球部 ソフトテニス部 剣道部 文化部</p>	<p>(女子)</p> <p>ソフトボール部 ソフトテニス部 バレーボール部 剣道部 文化部</p>
スクールバス	佐久山地区から親園中学校へ通学する生徒用としてスクールバスを運行します。登校時は1便、下校時は2便を基本に、学校の運営に合わせて運行します。	

『統合』という大きな出来事…

佐久山中学校の卒業生、統合により通学校が変わった生徒、そして、新たな仲間を迎えた親園中学校の生徒たちの想いを伺いました。

閉校した佐久山中学校を今年の春に卒業した生徒から（2名）



いけだ さとる
池田 暁 さん

私にとって佐久山中学校で過ごした3年間は大切な思い出として心に残っています。特に昨年度は佐久山中学校に有終の美を飾ろうと、生徒だけでなくPTA、同窓会、地域の方々が一丸となり、「体育祭」「佐中祭」「閉校式」が行われ、感動と共にふるりの絆、あたたかさを肌で感じることができました。71年の歴史に幕は下りてしまいましたが、思い出は永遠に光り輝いています。

親園中学校へ通学する後輩の皆さん、新たな生活はいかがですか。仲間と協力したり競い合ったりして、新たな親園中の伝統を築いていくってください。応援しています。

勉強、ソフトテニス、駅伝、合唱、生徒会活動、私の中学校生活は笑顔で溢れていたわけではなく、苦しい日々でした。しかし、これらを3年間やり遂げられたからこそ、今の私がいて私を大きく成長させてくれました。

努力は決して誰にでもできるわけではありません。「努力は才能」です。何か一つでも頑張ろうと決めたことを、どんなに辛く厳しくてもやり抜けば、必ず努力が実を結ぶ日が来ると思っています。新たな道で一步一步前へ進めるよう頑張ってください。

最後に、佐久山中学校で最高の仲間や先生方に出会えたこと、そして最高の思い出を作れたことは私の大切な宝物です。



まえだ あいか
前田 愛花 さん

佐久山中学校から親園中学校へ通学校が変更となった生徒から



まつもと わかな
松本 和奏 さん
(親園中学校3年生徒会副会長)

佐久山中学校はどんな時でも笑顔が絶えない爽やかな学校で、生徒、職員全員が、校訓「敬愛」精神を持って生活していました。

私は佐久山中学校がなくなってしまうことがとても辛くて、期待よりも不安の方が何倍も大きく、くじけそうになったこともあります。でも、先生や家族、地域の方々からたくさんのご支援をいただき、今では親園中の生徒として楽しく生活しています。

家族、友達、先生、先輩、地域の方々、全ての人々へ感謝し、心に残り続ける「敬愛」を私たちは伝えていきます。

佐久山中学校の生徒を迎えた親園中学校の生徒から



おおがねりほ 大金李歩さん
(親園中学校3年生徒会会長)

親園中学校は緑に囲まれた自然あふれる学校です。統合後も変わらずに親園中学校の校舎を使うことは、以前から知られていました。しかし、校歌や校章が変わることは正直言ってあまり嬉しくありませんでした。

いよいよ統合し、新しい仲間と活動していくうちに、「校歌や校章が変わっても、私自身は変わらずに生活できるのだな」と新しい発見をすることができました。

統合してもう1カ月がたちました。新しいクラスや学校生活にもすっかり慣れ、学年に関係なく生徒一人一人が交流しています。私も生徒会会長として、学校がより良い環境になるよう精進していきたいと思えます。

最後に、今まで親園中学校の諸活動を温かく見守ってくださった皆様、ありがとうございました。そして、これからも新しい親園中学校をよろしく願っています。

閉校した【佐久山中学校】

地域のシンボルとして長く親しまれてきた佐久山中学校は、親園中学校との統合により平成29年度をもって閉校しました。2月24日(土)には、卒業生や地域住民などが集まり閉校式も行われ、学校との別れを惜しみました。

● 創立 昭和22年4月6日

● 佐久山町立佐久山中学校として開校

● 教育目標

自ら学ぶ生徒

思いやりのある生徒

実践力のある生徒

● 卒業生総数 5109人



②



①



④

④



③

①佐久山中学校(校舎) / ②校旗返納 / ③貴重な写真を数多く掲載した閉校記念誌を作成しました / ④閉校記念誌(掲載記事等の写真)



閉校式にはたくさんの人が集まりました